

TUKO PAMOJA

VOL.3

HABARI

第1回タンザニア野球全国大会

2月22,23日にタンザニア史上初の野球の全国大会が開催されました。もちろん、本校も出場しました。結果はベスト4！参加校は4校ですが…。身体の大きい他校の生徒に負けず劣らずの好プレイに、観客のみなさんは感激しておられました。しかし、誰よりも感激していたのは間違いなく私でした笑”タンザニア野球連盟も発足し、タンザニア野球界は益々の盛り上がりを見せています。



Skype 交流会

2月4日に日本の学校と Skype 交流会を行いました。在日タンザニア大使をゲストにお迎えして、日本の生徒に講演会を行っていただき、その後、生徒同士で交流しました。事前に準備した質問をし終わると、残りの時間はガールズトークで盛り上がっていました。国は違えど、お年頃の女の子は恋愛に興味津々のようです笑”



今回は「タンザニアの喜怒哀楽」をテーマにタンザニア人の素顔に迫ってみたいと思います。日本から遠い異国のタンザニア人が普段どんな顔をして生活しているのか。文化的背景も踏まえながらご紹介していきたいと思います。

タンザニアではお祝い事の際はダンスを踊ります。ボンゴフレーバーと呼ばれる音楽のリズムに合わせて踊るのが一般的です。本校では卒業式の際に右の写真のように学校の図書館がダンスホールに様変わりします。アフリカの踊りと言えば、民族衣装を身にまとい踊るイメージがありますが、それらは土着的宗教の行事に限られるようです。

喜



怒

タンザニアでは生徒が悪い行いをしたときは体罰を行います。生徒は手を差し出して、先生は掌を木の棒で数回叩きます。他にも腕立て伏せやうさぎ跳び等、バリエーションは様々です。これについてはよく同僚と議論するのですが、他に生徒を指導する方法がわからないというのが彼らの意見です。文化の違う国から来た私にとって、彼らに具体的な解決策が提示できていないのが現状です。体罰をせずに生徒を指導していくことが私が実践していくことによって、少しでも何か感じてもらうことができると日々精進しています。(写真は割愛させていただきます。)

哀

私がタンザニア人の哀しむ姿を見たのはこれが初めてです。野球の試合で負けて泣ぐ生徒たち。タンザニア人は普段、滅多なことでは泣くことはないのですが、このときは本当に悔しかったようです。この涙を糧に生徒たちはより一層練習に励むようになりました。



楽

タンザニア人はいつでも楽しそうです(笑)。日本よりも決して裕福な生活をしているとは言えませんが、カメラを向けるといつでも屈託のない笑顔を見せてくれます。そんなタンザニア人と一緒に生活していると自分が失ってしまった何かを取り戻せるような感覚があります。



MTANZANIA

友達のタンザニア人をご紹介します！

近所に住むバイクタクシーの運転手、フィリポ。タンザニアで生活する上で困ったことがあれば彼に相談しています。安全上の理由から協力隊員はバイクタクシーを利用できないのですが、バスのチケットを買いに行ってもらったり、飲み水を買に行ってもらったりと、生活面でいろいろと助けてもらってます。(自分で行くより、お願いした方が安いので(笑。)) 数ヶ月前に子どもが生まれたばかりの新米パパさんです♪



タンザニア生活も残り半分を切りました。まだまだやりたいことは尽きません！悔いの残らないよう、精一杯がんばっていきましょう！

次回は「タンザニアと日本」をテーマにしたいと思います。

ASANTENI SANA!